

# かがやき

学校だより第9号

令和4年1月7日

草津市立山田小学校

【や】 やさしく・・・人権を大切にする いじめを許さない

【ま】 まけない・・・よく考え ねばり強くやりぬく

【だ】 ダイナミック・・・たくましく力強く 生き生きとしている

## 「マルトリ!?!」

「マルトリ」という言葉をお聞きになったことがありますか？わたしも最近聞いた言葉です。福井大学の友田明美教授によると、マルトリートメント(Maltreatment)とは、『不適切な子育て』を意味するそうです。1980年代からアメリカなどで広まった表現で、子どもの健全な発育を妨げる行為とされています。「マルトリートメント」では長いので、最近では「マルトリ」と呼ばれています。子どもをたたいたり、どなったり、つい感情にまかせて親の気分で子どもへの態度を変えたりすることを言います。

「かがやき第8号」で書いた、児童相談所等へ通告されるほどの「子ども虐待」とは言い切れないけれども、それに近い子育ての行為が「マルトリ」なのです。

「マルトリ」の例としては、次のようなことが挙げられます。

○たたく。○どなりつける。○罰として長い時間正座させる。○「あなたのためなのよ!」と親の意見を押しつける。○「だから、あなたはダメなのよ!」と存在を否定する。○子どもに夫婦げんかを見聞きさせる。○子どもに食事を十分に与えない。など、日常生活の場面において起こりうるものばかりです。

「マルトリ」がたびたび行われたり、強くなったりしたとき、子どもの脳は損傷するそうです。その結果、学習意欲の低下や非行、こころの病に結びつく危険性があるのです。つまり、力や恐怖によって子どもをしつけようとするれば、それは逆効果にしかならないのだということです。「かがき第6号」で書いたように、大事なのは「対話」です。問いかけのキャッチボールを続ける中で、子どもたちが自分で課題を見つけ、自分の頭で考え、自分で最後までやり抜いたものしか、本当の力にはならないのです。それを私たち大人は忘れてはいけません。

校長 南 喜普